学校番号	４０７

令和８年度　理科

教科	理科	科目	生物	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	生物　（東京書籍）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

生物では、生物基礎分野の復習もおさえながら、細胞、動物の環境応答、発生を中心に内容を精選し、基本事項の理解に重点を置きます。授業では、興味・関心のもてる話や新しい話題を生徒に提供し、身近な学問としてとらえてほしいと考えています。実験・実習も実施し楽しく理解できる授業を目指しています。生物学を学ぶことで、身のまわりの現象、生物としての自分自身についても理解・関心を深めていってもらいたいと思っています。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
生物は多様な細胞の集合体であるが、細胞という共通の単位を持つことを理解する。多様な細胞が協同的に働くことによって、生物の体内環境が保たれていることを理解する。ひとつの受精卵から細胞分裂を経て多細胞としての体が形成される発生のしくみを理解する。
【思考力、判断力、表現力等】
生物学の基本的な概念や原理・法則の理解を深めさせるだけでなく，科学的な見方や考え方を育成することを目標とする。
【学びに向かう力、人間性等】
目的意識をもって観察，実験などを行い，生物学的に探究する能力と態度を育てる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生物や生物現象について、基本的な概念や原理・原則を理解し、知識を身に付けている。	生物や生物現象の中に問題を見いだし、探究する課程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを適切に表現している。	生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	細胞と分子	・細胞小器官 ・真核・原核生物 ・酵素 ・浸透圧	a: 細胞膜の性質について理解し、知識を身に付けている。 b: 真核生物原核生物の違いや進化の過程を考察し、導き出した考えを表現している。 c: 動物植物の細胞小器官の特徴や共通性について関心を持ち、主体的に考え探究しようとしている。	定期考査 授業プリント 確認テスト	定期考査 授業プリント 実験レポート	授業プリント 実験への取り組み・レポート
	生物の環境応答	・眼 ・耳 ・鼻、舌、皮膚 ・適刺激	a: 刺激に対する反応としての動物個体の行動について理解し、知識を身に付けている。 b: 外界の刺激を受容し神経系を介して反応するしくみを考察し、導き出した考えを表現している。 c: 刺激に対する反応について関心を持ち、主体的に考え探究しようとしている。	定期考査 授業プリント 確認テスト	定期考査 授業プリント 実験レポート	授業プリント 実験への取り組み・レポート
2学期		・ニューロン ・神経 ・脳	a:中枢神経系やニューロンの構造について理解し、知識を身に付けている。 b: 外界の刺激を受容し神経系を介して反応するしくみを考察し、導き出した考えを表現している。 c:興奮は電気信号として伝わることについて関心を持ち、主体的に考え探究しようとしている。	定期考査 授業プリント 確認テスト	定期考査 授業プリント 実験レポート	授業プリント 実験への取り組み・レポート
		・自律神経系とホルモン ・血糖量の調節 ・動物の反応と行動	a:体内環境とホルモンについて理解し、知識を身に付けている。 b:動物の行動のしくみを考察し、導き出した考えを表現している。 c: 体内環境や動物の行動について関心を持ち、主体的に考え探究しようとしている。	定期考査 授業プリント 確認テスト	定期考査 授業プリント 実験レポート	授業プリント 実験への取り組み・レポート

3学期	遺伝情報の発現と発生	・原核生物と真核生物の遺伝子発現の調節 ・選択的遺伝子発現と細胞分化	a: 細胞の分化や胚葉からの器官形成について理解し、知識を身に付けている。 b: さまざまな生物の遺伝子発現について考察し、導き出した考えを表現している。 c: 遺伝子の発現調節について，学習した用語どうしのつながりを整理し，主体的に考え振り返ろうとしている。	定期考査 授業プリント 確認テスト	定期考査 授業プリント 実験レポート	授業プリント 実験への取り組み・レポート
		・動物の発生	a: ウニやカエルの発生について理解し、知識を身に付けている。 b: 様々な動物の発生のしくみをヒトの発生に応用することについて考察し、導き出した考えを表現している。 c:発生について，学習した用語どうしのつながりを整理し，主体的に考え振り返ろうとしている。			

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度